

## 「ノアの信仰」

創6：1～22

### イントロ：

1. ここヶ月で、世界を取り巻く状況は激変した。
  - (1) 米証券大手リーマン・ブラザーズの破綻を発端とする金融危機
  - (2) 世界同時不況の危機
  - (3) 小泉構造改革が破綻した。日本は新しい方向性を見つけなければならない。
  - (4) 麻生内閣が誕生。もっぱら総選挙に関心が行っている。
  
2. ハーベストフォーラム東京で創世記の講解メッセージをしている。
  - (1) ノアの生涯を5回にわたって取り上げた。
  - (2) きょうのメッセージは、その要約である。
  
3. なぜこのメッセージが大切か。
  - (1) 新約聖書に「ノアの日」という言葉がある。  
マタ 24：37～39、ルカ 17：26～27
  - (2) 「ノアの日」とは、「ノアの時代」という意味。
  - (3) 特徴は、神の裁きが近いのに、人々は大洪水の直前まで日常生活を営んでいたこと。
  - (4) これと似たような時代が再び到来する。それは、携挙が起こる直前の時代のこと。
  - (5) 携挙が起これば、大患難時代はすぐにやって来る。
  - (6) しかし、人々はそういう警告には耳を傾けないで、平気で日常生活を送る。
  - (7) 時代の大嵐を生き延びるためには、現代の箱舟が必要である。
  
3. メッセージのアウトライン
  - (1) なぜ大洪水が必要だったのか。
  - (2) なぜノアが選ばれたのか。
  - (3) なぜノアは助かったのか。
  - (4) ノアの信仰から何を学ぶべきか。

ノアの生涯から、今をいかに生きるべきか学ぶことができる。

### I. なぜ大洪水が必要だったのか。

1. 2節：通常解釈
  - (1) 不信仰の系列と信仰の系列の雑婚と見る。
  - (2) それには疑問が伴う。

- (3) 人間の雑婚という解釈は、教会教父から始まった。アウグスチヌス。
2. ここでの雑婚とは、墮天使と人間の女との雑婚である。
- (1) 「神の子ら」（ベネイ・ハエロヒム）
- ①旧約聖書では、常に天使を指す。
- ②天使は、神によって造られたので、「子ら（sons）」と呼ばれる。
- ③これは、昔からあるユダヤ人の解釈である。
- (2) 「人の娘たち」とは、人間の女性。
- ①カインの系列も、セツの系列も含む。
- ②「いかにも美しい」 性的ニュアンス、罪の思い。
- ③「好きな者を選んで」 墮天使と人間の雑婚。
3. 天使は結婚するのかという疑問
- (1) マタイ 22：30 「天の天使たち」とは、良い天使たちのことである。
- (2) 創世記 6章は、墮天使たちのことである。
- (3) 人間も、天においては結婚しないが、地上では結婚する。
4. どうしてサタンはこのようにしたのか。
- (1) 創世記 3：15 「女の子孫（種）」
- ①サタンに向かって語られた言葉である。
- ②サタンは、人間の女のかたちを破壊し、「女の子孫」の誕生を妨害しようとした。

## II. なぜノアが選ばれたのか（8節）

1. 日本語訳比較
- 「しかし、ノアは主の前に恵みを得た」（口語訳）
- 「しかし、ノアは、主の心にながっていた」（新改訳）
- 「しかし、ノアは主の好意を得た」（新共同訳）
2. ノアは、周りにいた罪人たちのようには歩まなかった。
- (1) 彼には罪がなかったということではない。
- (2) 神はノアに恵みを与えた。
3. ノアは神の恵みに応答して、人類の歴史を再スタートさせる人物となった。
4. ノアは、いつの時代にも存在する「残れる者」の型である。

## III. なぜノアは助かったのか。

1. 箱舟について（14節）
- (1) ヘブル語でテイバー。エジプト語から借りたもの。船ではなく、箱である。

- (2) 出エジプト2:3~6で、赤子のモーセが入れられたかご。
  - (3) 「木のやに」について。防水のためにこれを施す。
    - ①通常のタールという言葉ではない。
    - ②「カファー」。被い。贖い。
    - ③イエスの血潮は、靈的に私たちを救う。
  - (4) 箱舟のサイズ(15節)
    - ①長さ135m、幅22.5m、高さ13.5m
    - ②床面積  $135 \times 22.5 = 3037.5 \text{ m}^2$  920坪。総床面積2,760坪
    - ③排水トン数4万3千トンくらいの船。
    - ④羊なら、13万頭も入れることができる。
    - ⑤現在知られている種類によれば、実際の動物の頭数は3万5千頭から7万頭の間。
  - (5) 巨大な箱ができる。
    - ①航行目的ではなく、浮くことだけが目的。
    - ②転覆の危険性はない。90度近く傾いても、元に戻る。
2. 大洪水(17節)
- (1) 「大洪水」ハ・マブール The Flood ノアの洪水だけを指す。
  - (2) 旧約聖書では、詩篇29:10のみに出てくる。
  - (3) 特別な洪水。全世界を覆った。
    - ①水源は、地下水脈と天の水であった。
    - ②これは、創1:6~7の創造の2日目の業の逆である。
3. ノアの仕事(21~22節)
- (1) 動物は自然に集まってくる。神の役割。
  - (2) 食料を用意するのはノアの仕事。
4. ノアの家族は箱舟に入った。
5. 動物たちも箱舟に入った。
6. 「それから、主は、彼のうしろの戸を閉ざされた」
- (1) 回帰不能点を越えた。
  - (2) 神の守りが、残れる者(レムナント)のためにある。
  - (3) 箱舟の内には主の臨在があり、外には洪水があった。

#### IV. ノアの信仰から何を学ぶべきか。

##### 1. ノアの信仰 ヘブル11:7

「信仰によって、ノアは、まだ見ていない事からについて神から警告を受けたとき、恐れかしこんで、その家族の救いのために箱舟を造り、その箱舟によって、世の罪を定め、信

2008年10月7日（火） 月例会（大阪）

仰による義を相続する者となりました」

- (1) 彼は、雨も洪水も見たことがなかった。
  - (2) 彼の信仰は、箱舟建設によって示され、彼は信仰による義を獲得するものとなった。
  - (3) 彼の信仰は、世を罪に定めた。
2. 新しい契約 ルカ 22：14～20
- (1) 信仰の内容は異なるが、救われるための原則は同じである。
  - (2) 恵みの時代のテストは、私たちがイエスの十字架を信じるかどうかである。
  - (3) ノア契約では、地に広がり、地を満たすように命じられた。
    - ①大洪水はバプテスマの型である。
    - ②バプテスマを受けた私たちもまた、増え広がる使命がある。

## 結論

1. 救いの方法 箱舟
2. 神の恵みと人間の努力のバランス
3. 増え広がるという使命